

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 68
平成 23 年

案内 平成 23 年度関西大会

発行 日本庭園学会 (会長 藤井英二郎)
〒 150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-1
(有) 造園会館気付
TEL(03)-3462-2850 FAX 03-3464-8465
<http://www.soc.nii.ac.jp/asjg/>



平成23年度 関西大会 スケジュール

平成23年10月22日(土)

【見学会】

- 12:45 見学会 受付開始
- 13:00 見学会 開会
- 13:05 日本庭園学会賞 授賞式及び記念講演
- 14:00 見学会 開始
- 16:30 見学会 終了

- 17:30 懇親会 開始 (がんこ寿司三条本店)
- 19:30 懇親会 終了

平成23年10月23日(日)

【公開シンポジウム】

- 8:30 受付開始
- 9:00 開会・シンポジウム 開始
- 12:00 シンポジウム 終了
- (12:00-13:30 昼食) (12:00-13:00 理事会)

【研究発表会】

- 13:30 研究発表会 開始
- 16:15 研究発表会 終了
- 16:20 総括・閉会

■会費(2日間) 会員:500円・非会員:3,000円・学生:500円

■参加申込 京都造形芸術大学日本庭園研究センター内 日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342

E-mail:mukq95755@hera.eonet.ne.jp (関西支部 担当:今江秀史 宛)

■定員 40名(先着順) ■締め切り 平成23年10月19日(水) ■資料代 2,000円



■京都市職員会館かまがわ 案内

住所:京都市中京区土手町夷川上ル末丸町284

連絡先:075-256-1307

0120-82-5252

- ・京阪電車を利用
神宮丸太町駅下車 徒歩5分
- ・京都市営地下鉄を利用
京都市役所前駅下車 徒歩10分
- ・京都市バスを利用
京都駅方面から205/17系統にて河原町丸太町駅下車 徒歩5分
北大路方面から京都市役所前下車 徒歩8分
- ・タクシーを利用
「河原町通竹屋町を東に入って突き当たり」と言って下さい。

1日目 現地見学会・懇親会 「名勝 清風荘庭園」

集 合：京都大学 清風荘西門前集合
交 通：京阪電車出町柳駅下車・川端通今出川の交差点
を東方向に徒歩約10分（京都市左京区田中関田町）
受 付：12:45～13:00
開 始：13:00 終了予定：16:30

13:00 開会の挨拶

13:05 日本庭園学会賞 授賞式

13:10 受賞記念講演 尼崎博正氏

14:00 名勝清風荘庭園 見学

15:00 名勝清風荘庭園の修理 解説
終 了 ※現地解散

17:30～ 懇親会

懇親会場：がんど寿司三条本店

住 所：京都市中京区三条通河原町東入ル中島町 101

電話番号：075-255-1128 懇親会費：4,000円程度

※懇親会参加希望者は、参加申込に懇親会参加希望とご記入下さい。

2日目 公開シンポジウム

「文化財庭園の保存管理の体系化へ向けて」

従来、改めて論じられることはなかったが、庭の保存管理（修理・維持管理）を記述するのは簡単なことではない。それは、これまでに数多くの資料が作成されながら、庭の実態について記述した資料が数少ないことから窺い知れる。

従来の保存管理に関する資料の記述内容は、心得や関係事項・手法の羅列が中心であり、保存管理の全容または技能や維持管理事項の継承について、具体的な探求の過程や解決方法といった実態が記述されることは殆どなかった。その理由は、従来庭の記述が庭そのものに偏っていたからである。

本シンポジウムでは、近年文化財庭園の保存管理事業の実務を通して明確になった保存管理の記録の考え方を、実施事例を通じて報告し、その体系化への展望をテーマにパネルディスカッションを行う。

なお、当初、将来的に関西支部研究会で刊行を予定している文化財庭園の保存管理ハンドブック（案）をシンポジウム資料とする計画であったが、文化財庭園の修理技能の一部の紹介資料と修理事業報告書が配布される予定である。

会 場：京都市職員会館かもがわ 会議室

受 付：8:30～9:00

開 始：9:00～12:00

9:00 開会の挨拶

9:05 公開シンポジウムの主旨説明

9:10 基調講演 「文化財庭園の保存管理の記録」
今江秀史（京都市文化財保護課）

10:00 「文化財庭園の植栽修理」
山口貴弘（株式会社環境事業計画研究所）

10:20 「文化財庭園の築山版築修理」
吉野裕仁（樋口造園株式会社）
北川明日香（株式会社環境事業計画研究所）

10:40 「文化財庭園保存技術者協議会の活動
について」
吉村龍二（文化財庭園保存技術者協議会事務局）

11:10 休憩

11:20 パネルディスカッション
コーディネーター：今江秀史

2日目 研究発表会 発表要旨

(13:30-13:30)

1. 延宝度後西院御所の庭園について－凝花洞での遊興を中心に－

町田香 (国際日本文化研究センター)

概要：延宝度の後西院御所の庭園、特に凝花洞について利用実態を明らかにするとともに、17世紀に興隆した宮廷庭園群における意味付けを行う。後西院御所には御茶屋と大泉水をもつ庭園があり、後年凝花洞と命名された。後西院は凝花洞で伝統的な舟遊びを行なう一方、御殿内では小間の茶室で個人の趣味的な茶の湯に傾倒した。後水尾院の華やかな文化サロンの遊興とは一味違い、狭小かつ親密な人間関係による遊宴性の薄れた遊びであったといえる。

(14:00-14:30)

2. 龍安寺方丈庭園の作庭の意図についての数量的考察
杉尾伸太郎

概要：龍安寺方丈庭園の作庭意図は中国の五台山を写したものであり、醍醐寺に伝わる「五台山文殊菩薩騎獅像」の中に描かれている五台山が直接的に作庭家に影響を与えたものであることを筆者は既に発表したところである。今回はこの石組みの配置について当時の作庭家に参考にされた可能性のある具体の場所の山頂等の配置を数例取り上げ山頂間の距離、それらを構成する線の角度の測定を試み、その結果から作庭に際して参考として採用された可能性について論じるものである。

(14:30-15:00)

3. 国史跡「勝瑞城館跡」の枯山水庭園
西 桂

概要：徳島県板野郡藍住町勝瑞は、室町時代後半に阿波守護細川氏によって守護所が置かれた土地で、戦国時代には三好氏が本拠とした地である。「勝瑞城館跡」は、戦国大名・三好氏の大規模な居館跡で、平成6年度より発掘調査が始まり、平成11年度にその曲輪のひとつから枯山水庭園と、北側からは会所跡と思われる建物跡が検出された。庭園は12石を配石した平庭式枯山水庭園である。これらが作庭された背景を中心に考察したい。

(15:15-15:45)

4. 中国思想の影響を受けたわが国の庭園施設について
河原武敏

概要：伝来した中国文化がわが国の庭園に深く関わっていることは周知の事実である。しかしながら、それがどのような庭園施設に影響しているかは定かではない。本文はこれを確かめるため、各地に所在する文化財指定庭園及びそれに準ずる160の名園を調査抽出し、分類整理した結果、道教に関わる吉相思想、仏教思想、儒教思想、伝承や中国風景への情懐の存在が明らかとなった。

(15:45-16:15)

5. 涉成園の空間的特質に関する研究－利用形態と情景の変遷にみる時代性の考察－

加藤友規 (京都造形芸術大学大学院博士課程3回生)

概要：涉成園は、東本願寺の東方約200kmに位置する別邸で、通称「枳殻邸」の名で知られる。寛永18年(1641)に徳川家光より寄進されたこの地を第13代宗宣如上人が隠棲の地として整備したのが涉成園の始まりとされる。本研究は、史資料の収集と分析を通じて、涉成園における隠居屋敷及び迎賓施設としての利用形態と、「涉成園十三景」を中心とした情景の変遷を明らかにしたうえで、そこから読み取れる涉成園の空間的特質にみる時代性を考察したものである。



平成23年度全国大会の研究発表風景

第3回見学会 多賀大社奥書院庭園ほか

日時：平成22年10月30日（日）

場所：名勝多賀大社奥書院庭園（滋賀県犬上郡多賀町多賀）
名勝玄宮楽々園（彦根市）

集合場所：多賀大社社務所前

（JR彦根駅から近江鉄道「多賀大社前」下車徒歩約10分）

講師：重田勉（滋賀県文化財保護協会）

来る平成23年（2011）10月30日（日）、名勝多賀大社奥書院庭園と名勝玄宮楽々園の見学会を開催いたします。

名勝多賀大社奥書院庭園は、平成21・22年度の2カ年で保存整備事業が行われ、傾倒していた池護岸、埋没していた対岸の石組などが復旧・整備されました。発掘調査並びに保存整備設計を担当された（財）滋賀県文化財保護協会の重田勉にご案内いただき、これら保存整備事業概要をご紹介します。

名勝玄宮楽々園では、彦根藩主下屋敷であった槻御殿（楽々園）の建物解体修理事業が進行中ですが、あわせて玄宮園庭園整備に向けた護岸発掘調査が実施されています。調査成果の概要と今後の整備計画について、彦根市教育委員会の担当者のお話をうかがいながら、庭園を觀賞いたします。

（日程）

11：00 多賀大社社務所前集合

12：00 多賀大社奥書院庭園見学終了
（各自昼食・移動）

14：00 玄宮園 入口集合
（JR彦根駅から徒歩約20分）

16：00 現地にて解散

参加費：1500円（参観料、資料代含む）

申込先：日本庭園学会関西支部事務局 仲 隆裕まで、氏名・連絡先をはがきまたはファクシミリでお送りください。定員はありません。予定変更の場合に備え、携帯電話番号をお書き下さい。

申込期限：10月24日（月）17：00（必着にてお願いいたします）

関西研究会 文化財庭園部会

実施の報告

関西研究会（関西支部長 仲隆裕）は、平成23年10月3日（月）、平成23年度第1回研究会を京都造形芸術大学歴史遺産学科研究室にて実施した。

今回の研究会では、平成23年10月23日（日）に開催が予定されている関西大会シンポジウム資料の内容について検討を行った。同シンポジウムは、これまでに5回実施された関西研究会文化財庭園部会の成果が発表され、資料は部会で用いられた資料に基づいて作成される予定となっていた。

ところが、昨今の文化財庭園の保存管理（維持管理・

修理）の技能・記録の進展は日進月歩であり、昨年までの2年間に実施された研究会の報告の中には、既に実情に沿わなくなっている事項も見受けられる。こうした文化財庭園の保存管理の動向に大きな影響を与えたのが平成23年3月に刊行された『特別史跡及び特別名勝醍醐寺三宝院庭園保存修理事業報告書Ⅰ（園池編）』である。この報告書の刊行以前と以降では、保存管理の記録のあり方はかなり相違するため、シンポジウム資料の内容は研究会資料の単純な取りまとめでは、不十分であることが論議の中で明らかになった。よって、今回の資料作成は、研究会で発表された報告のうち、実績が伴っている事項を選出しさらに掘り下げることになった。

第2回の研究会では、保存管理ハンドブック（案）の編集について検討する予定である。

期間限定一般公開のお知らせ

立本寺庭園（京都市中京区）

立本寺は、「日蓮宗京都八本山」の一つに数えられる鎌倉時代末期創建の寺院である。境内には本堂・祖師堂・利堂（せつどう）がコの字型に並ぶ典型的な日蓮宗寺院の伽藍が残る。特別公開される庭園は、京都市指定名勝である。江戸期末の作庭で、池を掘ることなく築山を数多く築いた独創的な意匠をもつ。平成16年度から22年度までの7年間をかけて実施された修理事業により、往事の様相がよみがえった。それを記念して、京都市観光協会の主催により一般公開が行われることになった。

また、本堂には江戸中期に京都で活躍した絵師・渡辺始興（わたなべしこう）筆「十六羅漢図」の壁画が描かれており、日蓮宗様式を伝える客殿では、普段ご覧いただくことのできない寺宝が特別展示される。

日時：平成23年11月5日（土）～12月4日（日）

時間：10：00～16：00（受付終了）

拝観料：大人 600円／小学生 300円

交通：①京都駅より市バス50・206「千本中立売」下車、徒歩約7分②二条駅、阪急「大宮」駅より市バス6・46・55・201・206「千本中立売」下車、徒歩約7分

③京阪「三条」駅より市バス10「千本中立売」下車、徒歩約7分

連絡先：社団法人京都市観光協会 TEL:075-752-0227

会費納入のお願い

平成23年度の会費納入のお願いを全会員に送付しております。納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願い申し上げます。また、過年度滞納の方は併せて納入頂きますようお願いいたします。

表紙の写真

【名勝玄宮楽々園】

■編集後記 暑い夏から一転、強い台風が各地で被害をもたらしました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます▼本年度の関西大会は例年より早く10月に開催されます。11月は紅葉シーズンで気候も良いのですが、京都で宿泊地の確保が困難である、とのご意見も多かったためです。今回もバラエティに富んだ興味深い研究発表が予定されています。しかし、予定が合わず研究発表を見送られた方もいらっしゃるようです。今後、関西大会の日程は、なるべく変動しないように計画していきたいと思っております▼関西大会シンポジウムでは、ここ数年間、京都市内で実施されてきた文化財庭園の保存管理事業に携わってこられた会員を中心に、事例報告と文化財庭園保存管理の方法論の確立に向けての討議が行われる予定です。ふるってご参加のほどお願い申し上げます▼次号の学会ニュースは1月中旬発行予定です（T.N）

■学会ニュースへの投稿や、本誌「学会ニュース」やホームページ作成に興味があるという方は、下記宛に郵送またはFAXにてご連絡頂けますよう、よろしくお願い致します。

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会 広報委員会「学会ニュース」係

FAX(075)791-9342

編集長／仲 隆裕 編集・写真・構成／今江 秀史

協 力／木下 紘子

日本庭園学会広報委員会

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342